



UEDA EAST

上田東ロータリークラブ

第2600地区 東信第2グループ 創立1978.6.14

会長／渡辺敏成 幹事／工藤 恒 会報委員長／飯島洋一

例会：毎週水曜日 午後12:30～1:30

会場：上田東急REIホテル

事務局：上田市天神4-24-1 上田東急REIホテル 3F
TEL 0268-21-3500 FAX 0268-21-3501

URL: <http://www6.ueda.ne.jp/~uedaeast-rc/>
E-mail: uedaeast-rc@po6.ueda.ne.jp

WEEKLY REPORT

MAY.28.2025 第2145回

「地球環境問題～なにがほんと？」



村上 泰君

世界の年平均気温が上がっています。この原因は、温室効果ガスの増加であり、特に、CO₂が増加しているのです、減らさなければいけないと言われています。日本の温室効果ガスは皆さんの努力で削減されていますが、地球全体の二酸化炭素量は増加しており、まだまだ努力が足りないと言われています。

地球温暖化の仕組みは、CO₂など温室効果ガスが増え、熱を吸収して地球外部に放出できないからと説明されています。ところで、地球は水の惑星です。月と比べればわかりますが、温度差がなく生活できるのは、水蒸気のおかげです。CO₂が光を吸収するのとは比べると、H₂Oは幅広い波長域で光を吸収しますが、水蒸気は温室効果ガスには入れられていません。水蒸気の温室効果に比べればCO₂の温室効果は大きくないと思います。

最近、過去を調べる技術が進んで、9～10世紀は20世紀後半より太陽活動が活発で温暖だったことがわかってきました。日本では、この時代は平安時代(794～1185)前期にあたります。平安時代と言えば、寝殿造。開放的で寒くないのだらうかと思う建物です。書物によると、当時、「わらわ病み」というマラリアが流行っていました。鎌倉時代になると、書院造になります。襖や障子などの間仕切りや畳が登場して、寒さ対策になっているように思います。鎌倉時代から寒冷化したのでしょうか。貨幣経済を重んじる平氏から、領地経済を重んじる源氏へと政権が変わったのも、食料生産量が減ると、貨幣経済が成り立たなくなり、食料を確保するために領地経済になったのではないのでしょうか。平安時代には奥州藤原氏が繁栄しており、平泉に中尊寺金色堂を建てました。残念ながら、鎌倉時代以降、東北は栄えていません。寒冷化の影響を受けやすいと考えられます。北海道・北東北の縄文遺跡群が世界遺産に登録されました。縄文時代は東日本が中心で東北地方も栄えました。縄文海進というのでわかるように、縄文時代は現在より 2-3℃気温が高く、海面も現在より 3-5 m 高かったと言われています。気温が変化する理由が温室効果以外にあるのでしょうか

か？太陽黒点数の変動の現在の周期は約11年とされています。ところが、屋久杉年輪に含まれる炭素14量の分析により復元された9～10世紀の太陽活動周期は約9年とされています。一方、小氷河期と言われるマウンダー極小期(1645～1715)は約14年、ダルトン極小期(1790～1830)は約13年の周期だと言われています。太陽活動周期が短いほど温暖期となり、長いほど寒冷期となるのです。小氷河期は日本では江戸時代にあたります。「東海道五十三次」が刊行された1833年に、江戸で約1mの積雪があったと記載がありますし、歌川広重の蒲原夜之雪という絵もあります。温暖な静岡でも雪が積もったということになります。

太陽活動は、第23周期(1996～2008)は周期が12.6年と長く、第24周期(2008～2019)は周期は11年でしたが、黒点の数が少なくなっているという変化があります。第23周期が12.6年と長くなったのは、黒点がない時期(2007～2008)が長かったからです。太陽活動が極端に低下しているときは、太陽磁場が二重極ではなく四重極になっていると言われており、小氷河期と同じようになる可能性も指摘されています。太陽活動が活発でない時期というのは、太陽磁場の強度が低下し、地球大気に到達する銀河宇宙放射線が強くなるとされています。現在地球の磁場は弱まっており、太陽磁場の影響を受けやすいと考えられます。南大西洋磁気異常があって、特にブラジル付近の地磁気が弱く、宇宙放射線を浴びやすいと言われています。

地球には大気がありますが、大気の一番外側にあるのが熱圏です。2010年に太陽活動低下で大気圏上層の「熱圏」が縮小したことが報告されました。太陽磁場が弱くなり、熱圏が宇宙線に曝され、壊されたと考えられます。地球は赤道と極では太陽から得られるエネルギーが異なるため、赤道と極の間の熱のやりとりをしています。今までは熱圏を通して行われていたのですが、熱圏が薄くなったので、海を通して行うようになったと考えられます。実際、熱圏の気温は低下し、海水温は上昇しています。最近の海水温の上昇は顕著です。ヘンリーの法則というのがあって、水の温度が上昇すると気体の溶

解度は減少します。炭酸水は温めるとガスが抜けるように、海水温が上昇するとCO₂の溶解度は減少して大気中のCO₂濃度は高くなります。これを考えると、原子力発電は直接CO₂を出しませんが、海水を温めるのでCO₂を増やすと考えられます。

第25周期は2025年に極大期を迎えますが、いつ終わるのかは不明で、今後の推移を見守る必要があります。太陽の黒点活動と景気には関係があつて、極大期には大

きな不況は来ないのではないかと思います。大地震も大丈夫ではないでしょうか。

最後に、1929年に疲労の原因は乳酸とされてきました。2000年代、真の原因はカリウムイオンにあることがわかり、乳酸原因説は濡れ衣だったと判明しました。乳酸が疲労回復に頑張っていたので、犯人と勘違いされたのです。常識が正しいとは限らないので、自分で考えることが必要だと思います。

例会 日誌

5月28日(水) 曇り

2024～2025 No.37

- 司 会 橋詰洋平君
- 斉 唱 「奉仕の理想」
- ラッキー賞 手塚達也君(季節のアレンジ花)
- 友 愛 賞 宮下博道君(山本君より季節限定のお菓子)



■会長挨拶

渡辺 敏成 会長



皆さんカンボジアという国はご存じでしょうか？石破さんが初めて首相として外遊した国、そして愛子殿下がこれから行かれる国…それはラオスです。先日、カンボジアとラオスの話をある人にしたら「ラオスってカンボジアの一部でしょう？」といわれましたが全く別の国です。カンボジアは西はタイ、東はベトナム、北はラオスに接している東南アジアの国です。

実は、来週カンボジアの駐日大使が当クラブの例会に参加されます。それだけでなく白鳥ガバナーやパストガバナーなどが8人ほどおいでになります。なんだか仰々しい状態になってしまいそうですが、基本的には通常の例会です。

来週の水曜日(6月4日)午後2時から長野大学にて国際奉仕委員会の報告会の一環として、カンボジアでの2600地区の奉仕活動の報告会が予定されたようです。できれば報告会の前に顔合わせ会を行って、昼食もどこかで取りたいとの計画だったそうです。しかし、地区の有力者の面々との名刺交換ができて、昼食もとれるあまりにぎやかでない場所ということで、たまたま同日昼に例会を催していた当クラブに白羽の矢が当たり大使が当クラブに来られることになりました。簡単に言えば、会議の前に安全なところでご飯が食べたいとのご要望です。断る理由もなく、名誉なことなのでお受けいたしました。が、イニシエーションスピーチの予定でした春原さんにはご迷惑をおかけいたしました。

駐日カンボジア大使はトゥイ・リー閣下でして2022年に着任されたそうです。その他書記官や通訳なども同席されるそうです。当日会場がここので窮屈にはなっていますが、みなさん多数参加して当クラブのパワーを見せるチャンスかと思います。多くの方のご出席をお願いしたいと存じます。

懸念は通常例会なので会長挨拶があり、何をしゃべったらよいのか悩んでいることです。カンボジアに行った経験がないのでアンコールワットなどの話はできませんし、近年カンボジアといえはいろいろな電話詐欺の拠点で、日本の高校生までもが拉致されていたことが記憶に新しいのですが、そんなこと言ったらガバナーたちが卒倒するでしょうね。

■新入会員入会式



手塚 達也 (てづか たつや) 君

職業分類 損害保険

勤 務 先 損害保険ジャパン(株)

上田佐久支社 支社長

推 薦 者 上原 達君、渡辺敏成君

趣 味 スキー、スノーボード、キャンプ、ゴルフ、釣り

■出席報告

	正会員数	ベース	欠席	メイク	出席率
本 日	53	48	22	—	54.17%
前々回	52	47	15	9	87.23%

ニコニコBOX

(敬称略)

工藤、久保、倉島、後藤、小林、塩之入、滝澤、竹内、竹花田守、塚田、手塚(た)、蓑輪、村上、母袋(創)、柳澤誠山寺、山本、渡辺

※渡辺敏成君/手塚さん、入会おめでとうございます。

※工藤 恒君/村上さん、卓話を楽しみにしています。

※村上 泰君/今日は卓話がんばります。

※塩之入永子君/お花のブーケ、毎日お水をとり変えながら、まだ綺麗に咲いております。

※手塚たつ子君/近藤さん、お花ありがとうございます。癒しになります。

※母袋創一君/麦作から稲作に転換した農家が何軒かあり。未来の農政のあり方の確立が課題。

本日の金額/25,000円 累計/1,216,010円

[次週のプログラム]

6月11日(水) 慶祝、イニシエーションスピーチ 久保友幸君